

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月28日

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
 コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岸田 哲行  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東大

TEL 06-6202-2161

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	51,721	—	8,083	—	8,371	—	5,388	—
20年3月期第1四半期	50,215	8.7	7,995	53.4	8,549	66.2	5,374	76.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	16.08	—	—	—
20年3月期第1四半期	15.79	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第1四半期	420,614	—	345,996	—	82.2	—	1,031.66	—
20年3月期	413,703	—	342,235	—	82.7	—	1,020.31	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 345,706百万円 20年3月期 341,928百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	106,000	—	17,500	—	17,500	—	11,000	—	—	32.82
通期	231,000	7.8	48,000	18.8	48,000	20.4	30,000	19.7	—	89.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 351,136,165株 20年3月期 351,136,165株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 16,037,884株 20年3月期 16,013,128株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 335,106,084株 20年3月期第1四半期 340,439,205株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表原則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内医薬品市場は、本年4月の薬価改定や、後発品使用促進の浸透が進むなど、厳しい市場環境に推移しました。このような状況の中で、当社グループは、高コレステロール血症治療薬「 Crestor」や本年7月に発売いたしました高血圧症治療薬「イルベタン」などにリソースを集中し、成果をあげる戦略を引き続き進めております。

当第1四半期における業績は、売上高517億2千1百万円、営業利益80億8千3百万円、経常利益83億7千1百万円、四半期純利益が53億8千8百万円となりました。

売上高につきましては、「 Crestor」が引き続きマーケットシェアを拡大したほか、がん疼痛治療薬「オキシコンチン」やアレルギー性疾患治療薬「クラリチン」が増加したことなどにより、既存品が薬価改定の影響もあり減少しましたが、医療用医薬品全体としては、前年同期から微増となりました。また、工業所有権等使用料収入や輸出、製造受託が増加したことにより、全体としての売上高は前年同期に比べ3.0%の増加となりました。

利益面につきましては、工業所有権等使用料収入の増加により売上総利益が前年同期比3.2%の増となりましたが、研究開発費が前年同期比7.8%増加し、営業利益はほぼ横ばいとなりました。経常利益は為替の影響もあり前年同期比2.1%の減益、当期純利益は前年同期比0.3%増とほぼ横ばいとなりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は4,206億1千4百万円で、前期末と比べて69億1千万円増加しました。流動資産は前期末より4千4百万円増加し、1,950億8百万円となっております。また固定資産は、主に株式相場の時価変動により投資有価証券が増加したことにより、前期末より68億6千5百万円増加し、2,256億5百万円となっております。

負債合計は746億1千7百万円で、前期末と比べて31億4千9百万円増加しました。流動負債では、賞与引当金の増加などにより、前期末より11億6千9百万円増加し、436億1千3百万円となっております。また固定負債では、その他有価証券の時価の上昇に伴う繰延税金負債の増加などにより、前期末より19億8千万円増加し、310億4百万円となっております。

純資産合計は3,459億9千6百万円で、前期末と比べて37億6千万円増加しました。株主資本は、四半期純利益による増加や、配当金の支払による減少などにより、前期末より13億1千6百万円増加し、3,213億5千5百万円となっております。また、評価・換算差額等は、その他有価証券の時価の上昇により、前期末より24億6千万円増加した243億5千万円となっております。

これにより、自己資本比率は前期の82.7%から82.2%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、86億2千8百万円の収入になりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益82億8千2百万円、減価償却費26億6千6百万円、売上債権の減少30億8千2百万円などによる収入や、法人税等の支払額73億5千万円などによる支出であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出18億4千6百万円や、投資有価証券の取得による支出10億1千2百万円などにより、38億9千3百万円の支出となりました。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払40億2千2百万円を中心に、42億6千9百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第1四半期の「現金及び現金同等物の増減額」は1億9千万円の増となり、当第1四半期末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、678億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成20年5月12日発表の業績予想を変更しておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

この結果、従来の方によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に4百万円計上されており、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

3. 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この結果、従来の方によった場合に比べて、営業利益が3千4百万円減少し、経常利益が1千万円増加し、税金等調整前四半期純利益が7千8百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,723	11,709
受取手形及び売掛金	64,475	67,605
有価証券	63,634	62,440
商品	3,464	3,466
製品	10,141	9,390
半製品	4,482	5,871
原材料	5,411	4,310
仕掛品	10,562	9,469
その他	22,125	20,714
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	195,008	194,963
固定資産		
有形固定資産	71,043	70,377
無形固定資産	6,056	5,618
投資その他の資産		
投資有価証券	111,038	105,452
その他	37,587	37,457
貸倒引当金	△120	△165
投資その他の資産合計	148,505	142,744
固定資産合計	225,605	218,739
資産合計	420,614	413,703
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,177	11,301
未払法人税等	3,747	7,611
引当金		
賞与引当金	9,939	6,714
その他の引当金	925	1,010
その他	17,823	15,805
流動負債合計	43,613	42,443
固定負債		
引当金		
退職給付引当金	7,977	7,949
その他の引当金	155	168
その他	22,871	20,906
固定負債合計	31,004	29,024
負債合計	74,617	71,468

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	299,179	297,811
自己株式	△19,330	△19,280
株主資本合計	321,355	320,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,703	22,068
為替換算調整勘定	△352	△178
評価・換算差額等合計	24,350	21,889
少数株主持分	290	307
純資産合計	345,996	342,235
負債純資産合計	420,614	413,703

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	51,721
売上原価	16,531
売上総利益	35,189
販売費及び一般管理費	27,105
営業利益	8,083
営業外収益	
受取利息	140
受取配当金	629
その他	241
営業外収益合計	1,011
営業外費用	
支払利息	14
寄付金	358
為替差損	164
その他	186
営業外費用合計	724
経常利益	8,371
特別損失	
たな卸資産評価損	89
特別損失合計	89
税金等調整前四半期純利益	8,282
法人税、住民税及び事業税	3,592
法人税等調整額	△683
法人税等合計	2,908
少数株主利益	△14
四半期純利益	5,388

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,282
減価償却費	2,666
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△45
受取利息及び受取配当金	△769
支払利息	14
為替差損益 (△は益)	2
売上債権の増減額 (△は増加)	3,082
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,603
仕入債務の増減額 (△は減少)	95
その他	3,481
小計	15,207
利息及び配当金の受取額	781
利息の支払額	△10
法人税等の支払額	△7,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,098
定期預金の払戻による収入	932
有形固定資産の取得による支出	△1,846
有形固定資産の売却による収入	35
投資有価証券の取得による支出	△1,012
貸付金の回収による収入	1
その他	△906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△4,022
少数株主への配当金の支払額	△2
その他	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	△274
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	190
現金及び現金同等物の期首残高	67,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,800

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	8,074	1,180	9,254
II 連結売上高（百万円）	—	—	51,721
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.6	2.3	17.9

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	50,215
II 売上原価	16,105
売上総利益	34,109
III 販売費及び一般管理費	26,114
(うち研究開発費)	(9,741)
営業利益	7,995
IV 営業外収益	1,223
V 営業外費用	669
経常利益	8,549
VI 特別利益	276
VII 特別損失	25
税金等調整前四半期純利益	8,800
法人税、住民税及び事業税	1,957
法人税等調整額	1,474
少数株主利益	△5
四半期純利益	5,374

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	8,800
減価償却費	2,271
売上債権の増減額(増加:△)	506
たな卸資産の増減額(増加:△)	△596
仕入債務の増減額(減少:△)	532
その他	△5,145
小計	6,369
利息及び配当金の受取額	971
利息の支払額	△14
法人税等の支払額	△6,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	336
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△634
有価証券・投資有価証券の売却等による収入	731
有形固定資産の取得による支出	△1,897
有形固定資産の売却による収入	15
その他	△198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,983
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△2,725
その他	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,960
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	104
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	△4,502
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	74,546
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	70,043

平成21年3月期 第1四半期業績 補足資料

塩野義製薬株式会社

① セグメント別売上高

(単位億円)

平成21年3月期 第1四半期業績	20年上期 予定	20年度 予定	20年4-6月 実績	19年4-6月 実績	増減額	対予定 進捗率
医薬品及びその関連する事業	1,046 ( 4.7)	2,273 ( 9.1)	511 ( 2.9)	496 ( 8.9)	15	48.9
医療用医薬品	765 ( 3.1)	1,629 ( 5.0)	380 ( 0.5)	378 (△ 0.1)	2	49.8
フロモックス	115	270	61	65	△ 4	53.2
クレストール	80	190	38	19	19	47.4
リンデロン等外用	53	100	26	27	△ 1	48.9
フルマリン	56	110	25	30	△ 5	44.4
塩酸バンコマイシン	48	95	23	30	△ 7	48.9
イムネース	53	105	20	32	△ 12	38.5
オキシコンチン	39	82	20	16	4	52.5
クラリチン	33	95	18	16	2	53.1
イルベタン	6	20	8	-	8	129.7
フィニバックス	16	38	6	5	1	38.4
アベロックス	11	25	4	4	0	38.0
ピルフェニドン	-	5	-	-	-	-
ディフェリン	-	4	-	-	-	-
輸出・海外事業	37 ( 25.2)	81 ( 28.8)	19 ( 25.4)	15 ( 28.3)	4	52.2
ドリペネム	8	23	5	-	5	59.2
製造受託	29 ( 8.8)	63 ( 6.9)	12 ( 22.5)	9 ( 26.8)	3	41.9
一般用医薬品	28 (△ 3.5)	58 ( 2.2)	14 (△ 2.6)	14 (△ 4.0)	0	51.1
セデス類	12	25	6	6	0	50.1
ポポンS類	6	11	3	3	0	44.0
診断薬	17 ( 0.0)	32 (△ 5.6)	9 ( 0.6)	9 ( 3.8)	0	54.3
工業所有権等使用料収入	170 ( 9.9)	410 ( 28.0)	75 ( 9.5)	69 (107.8)	6	44.4
クレストール	160	388	72	67	5	45.2
その他の事業	14 (△ 67.3)	37 (△ 36.6)	6 ( 14.5)	5 (△ 9.9)	1	43.7
合計	1,060 ( 1.8)	2,310 ( 7.8)	517 ( 3.0)	502 ( 8.7)	15	48.8

( )内 対前年UP%

製品別売上高は単体実績

## ②四半期別業績推移-1

### 1. 四半期別セグメント別売上高

(単位億円)

平成20年3月期	19年4-6月 実績	対前年 UP率	19年7-9月 実績	対前年 UP率	19年10-12月 実績	対前年 UP率	20年1-3月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	496	8.9	502	10.9	574	7.0	510	7.9
医療用医薬品	378	△ 0.1	363	2.4	441	2.6	368	3.6
フロモックス	65	△ 8.5	59	△ 9.1	92	△ 1.7	71	△ 8.5
クレストール	19	-	25	140.9	31	-	29	154.7
リンデロン等外用	27	△ 1.6	27	1.3	26	△ 0.6	20	△ 4.4
フルマリオン	30	△ 11.9	33	△ 7.6	34	△ 6.5	24	△ 8.8
塩酸バンコマイシン	30	△ 19.0	25	△ 27.1	30	△ 4.5	21	△ 18.6
イムネース	32	4.7	33	23.1	26	△ 22.7	27	△ 0.9
オキシコンチン	16	22.2	16	33.6	21	35.4	13	19.8
クラリチン	16	20.9	12	8.2	15	△ 11.0	46	55.0
フィニバックス	5	16.6	7	47.8	7	23.5	6	19.7
アベロックス	4	△ 47.2	4	△ 8.3	7	△ 34.7	4	113.2
輸出・海外事業	15	28.3	14	△ 8.1	13	3.9	19	61.5
ドリベネム	-	-	1	-	1	-	3	-
製造受託	9	26.8	16	84.7	18	32.5	14	49.2
一般用医薬品	14	△ 4.0	14	△ 8.4	15	△ 12.1	11	△ 3.6
セデス類	6	△ 1.1	6	△ 13.5	7	△ 2.7	5	△ 7.1
ポボンS類	3	△ 12.4	3	4.9	3	△ 20.6	2	3.9
診断薬	9	3.8	7	△ 1.7	8	7.9	8	△ 2.9
工業所有権等使用料収入	69	107.8	85	71.6	76	42.3	88	17.8
クレストール	67	112.8	77	83.5	74	41.9	81	18.1
その他の事業	5	△ 9.9	37	445.4	7	△ 77.5	7	△ 74.8
合計	502	8.7	539	17.4	582	1.8	518	2.9

平成21年3月期	20年4-6月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	511	2.9
医療用医薬品	380	0.5
フロモックス	61	△ 5.8
クレストール	38	99.9
リンデロン等外用	26	△ 2.4
フルマリオン	25	△ 17.3
塩酸バンコマイシン	23	△ 22.2
イムネース	20	△ 35.4
オキシコンチン	20	27.7
クラリチン	18	6.4
イルベタ	8	-
フィニバックス	6	16.5
アベロックス	4	14.2
輸出・海外事業	19	25.4
ドリベネム	5	-
製造受託	12	22.5
一般用医薬品	14	△ 2.6
セデス類	6	△ 2.5
ポボンS類	3	3.5
診断薬	9	0.6
工業所有権等使用料収入	75	9.5
クレストール	72	8.3
その他の事業	6	14.5
合計	517	3.0

## ②四半期別業績推移-2

### 2. 四半期別連結損益計算書

(単位億円)

平成20年3月期	19年4-6月 実績	対前年 UP率	19年7-9月 実績	対前年 UP率	19年10-12月 実績	対前年 UP率	20年1-3月 実績	対前年 UP率
<b>売上高</b>	<b>502</b>	<b>8.7</b>	<b>539</b>	<b>17.4</b>	<b>582</b>	<b>1.8</b>	<b>518</b>	<b>2.9</b>
売上原価	32.1 161		34.4 185		31.5 183		30.1 155	
売上総利益	341	11.1	353	14.7	399	7.0	362	8.7
販売費・一般管理費	52.0 261		48.6 262		47.1 274		49.1 254	
販売費・管理費	163	△ 0.2	163	0.6	163	△ 5.4	159	△ 0.3
研究開発費	97	7.2	98	12.1	111	13.8	95	△ 2.3
<b>営業利益</b>	<b>15.9</b>	<b>53.4</b>	<b>17.0</b>	<b>58.5</b>	<b>21.4</b>	<b>21.4</b>	<b>20.8</b>	<b>41.7</b>
営業外収支	5		△5		-		△4	
<b>経常利益</b>	<b>17.0</b>	<b>85</b>	<b>15.9</b>	<b>86</b>	<b>21.3</b>	<b>20.1</b>	<b>19.9</b>	<b>102</b>
特別損益	2		-		-		△ 1	
税金等調整前当期純利益	88		86		124		101	
税金費用他	34		31		45		37	
<b>当期純利益</b>	<b>10.7</b>	<b>53</b>	<b>10.0</b>	<b>54</b>	<b>13.6</b>	<b>25.5</b>	<b>12.3</b>	<b>63</b>
		<b>76.2</b>		<b>61.9</b>				<b>8.0</b>

平成21年3月期	20年4-6月 実績	対前年 UP率
<b>売上高</b>	<b>517</b>	<b>3.0</b>
売上原価	32.0 165	
売上総利益	351	3.2
販売費・一般管理費	52.4 271	
販売費・管理費	166	1.4
研究開発費	104	7.8
<b>営業利益</b>	<b>15.6</b>	<b>80</b>
営業外収支	2	
<b>経常利益</b>	<b>16.2</b>	<b>83</b>
特別損益	0	△ 2.1
税金等調整前当期純利益	82	
税金費用他	29	
<b>当期純利益</b>	<b>10.4</b>	<b>53</b>
		<b>0.3</b>

### ③ 開発品 (2008年7月現在)

#### <国内開発品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
SR47436 (イルベサルタン, Irbesartan)	アンジオテンジンII受容体拮抗薬 (経口)	高血圧症	発売 (2008年7月)	サノフィ・アベンティス社(フランス)	共同開発:大日本住友製薬
S-7701 (ピルフェニドン, Pirfenidone)	抗線維化剤 (経口)	特発性肺線維症	申請中 (2007年3月)	マルナック社(アメリカ) およびKDL社(日本)	自社
LY248686 (塩酸デュロキセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	うつ	申請中 (2008年1月)	イーライリリー社 (アメリカ)	自社
LY248686 (塩酸デュロキセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	糖尿病性神経因性疼痛	フェーズIII	イーライリリー社 (アメリカ)	共同開発:日本イーライリリー社
S-4661 (ドリペネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質(注射)	各種細菌感染症(小児)	フェーズIII	自社	自社
S-4661 (ドリペネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質(注射)	用法・用量追加(1g×3回/日:重症感染症)	フェーズIII	自社	自社
S-021812 (ペラミビル, Peramivir)	ノイラミニダーゼ阻害薬 (注射)	インフルエンザ感染症	フェーズIII準備中	バイオクリスト社 (アメリカ)	自社
S-013420	新規マクロライド系抗生物質 (経口)	細菌感染症	フェーズIIb	エナンタ社(アメリカ)	自社
NS75B (バモ酸セトロレリクス, Cetrorelix pamoate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホルモン放出ホルモン)アンタゴニスト	前立腺肥大症	フェーズIIb	エターナゼンタリス社(カナダ)	自社
NS75A (酢酸セトロレリクス, Cetrorelix acetate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホルモン放出ホルモン)アンタゴニスト	子宮筋腫	フェーズII	エターナゼンタリス社(カナダ)	共同開発:日本化薬
S-777469	選択的CB2受容体アゴニスト (経口)	アトピー性皮膚炎	フェーズIIa	自社	自社
S-888711	低分子TPOミメティクス (経口)	血小板減少症	フェーズI	自社	自社
S-555739	プロスタグランジンD2拮抗薬	アレルギー疾患	フェーズI	自社	自社

#### <海外開発品>

開発No.	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-2367	ニューロペプチドY Y5受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズIIb	自社	自社
S-777469	選択的CB2受容体アゴニスト (経口)	アトピー性皮膚炎	米国:フェーズIIa	自社	自社
S-349572/S-265744/S-247303	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	米国:フェーズIIa (最大進展フェーズ)	シオノギ- GSK	共同開発:シオノギ- GSK
S-0139	エンドセリンA受容体拮抗薬 (注射)	脳血管障害	日本:フェーズIIa 欧州:フェーズI	自社	自社
S-555739	プロスタグランジンD2拮抗薬	アレルギー疾患	欧州:フェーズI	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-4661 (ドリペネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	細菌感染症	米国: 承認(2007年10月) 腹腔内感染症 尿路感染症 申請中(2007年6月) 院内肺炎 欧州:申請中(2007年6月)	自社	ペニンシュラ社 (現ジョンソン&ジョンソン社(アメリカ))
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック (経口)	脊髄小脳変性症	フェーズ I	自社	キッセイ薬品
S-3013	分泌型PLA2(sPLA2)阻害薬 (経口)	動脈硬化	米国:フェーズ II	シオノギーイーライリリー社(アメリカ)	アンセラ社(アメリカ)

<導入口>

一般名	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
アダパレン ゲル, Adapalene gel	レチノイン酸受容体作動薬 (外用)	尋常性ざ瘡	承認 (2008年7月)	ガルデルマ社 (フランス)	ガルデルマKK

2008年5月からの変更点

ステージの変更	SR47436<国内開発品>: 承認 → 発売
	S-021812<国内開発品>: フェーズ II → フェーズ III 準備中
	S-349572/S-265744/S-247303<海外開発品>: フェーズ I → フェーズ II a (最大進展フェーズ)
	アダパレン ゲル<導入口>: 申請中 → 承認
リストへの追加	S-4661<国内開発品>: 重症感染症に対する用法・用量の追加 (1g×3回/日)
	S-555739<国内・海外開発品>: 2008年7月欧州でフェーズ I 試験開始
	S-3013<海外開発品>: アンセラ社(アメリカ)へ導出